

「中野区教育ビジョン（第3次）（案）」についての
パブリック・コメント手続の実施結果について

「中野区教育ビジョン（第3次）」を策定するにあたり、下記のとおりパブリック・コメント手続を実施したので報告する。

記

1 パブリック・コメント手続実施結果

(1) 意見募集期間

平成29年3月21日（火）から平成29年4月11日（火）

(2) 提出方法別意見提出者数

提出方法	人（団体）数
電子メール	2人
ファクシミリ	2人
窓口	1人
合 計	5人

(3) 提出された意見の概要及びそれに対する区の考え方（同趣旨の意見は一括）

項目1 第2章中野区が目指す教育の姿について（7件）

No.	提出された意見の概要	区の考え方
1	<p>1 教育理念と目指す人物像 《目指す人物像》</p> <p>「目指す人物像」にある「◆公徳心に富、社会に役立つ人」、「◆家族、わがまち、そして自らの祖国を愛する人」を削除してほしい。</p> <p>教育は人格の形成を目標にすべきであり、行政が人物像を押し付けることは止めるべきである。</p>	<p>「中野区教育大綱では、中野の教育が目指す人物像を定めたうえで、中野の教育のあり方を示している。</p> <p>「教育ビジョン（第3次）」で示す人物像は、「中野区教育大綱」と整合性を図ったものである。</p> <p>また、人物像は押し付けるものではなく、区の教育施策を進めるうえで、目標として示したものであり、「教育ビジョン（第3次）」においても必要な項目だと考えている。</p>

2	<p>1 教育理念と目指す人物像 《目指す人物像》</p> <p>「目指す人物像」の一つとして「◆公徳心に富み、社会に役立つ人」とあるが、何を基準としているのか。社会に役立つ、国のためになる等と考えていてほしくない。一人ひとりがお互いを助け合い、あたたかい社会をつくっていくことが大事ではないか。</p>	<p>自他を認め合い、お互いに協力しあいながら生きていくことは大切であり、そのためには、社会の一員としてルールを守ろうとする心や自ら社会貢献する意欲、他者への思いやり等を持つことが重要と考えている。</p>
3	<p>2 教育理念を実現するための視点 ②自ら考え、学び、行動する人材を育成する教育</p> <p>人材という表現をやめて、「自ら考え、学び、行動する力を育てる教育」とすべきである。</p>	<p>人材という言葉は、自ら考え、学び、行動し、自己実現を図ったり、社会に貢献しようとする人を育むという意味を込めており、適切な表現であると考えている。</p>
4	<p>2 教育理念を実現するための視点 ②自ら考え、学び、行動する人材を育成する教育</p> <p>英語教育などを通じてコミュニケーション能力を育むと記載がある。</p> <p>日本の社会においては、英語を使ったコミュニケーションの機会はあまりないのではないか。それよりも国語を学ぶことが大切ではないか。</p>	<p>グローバル化が一層進む中、子どもたち一人ひとりの可能性を伸ばしていくには、英語教育や国際理解教育などを通じて、多種多様な価値観の理解やコミュニケーション能力の向上が重要と考えている。</p> <p>また、社会生活や学習の基本となる国語についても学習状況に応じたきめ細かな指導や発展的な学習により、着実に身に付けさせていく。</p>
5	<p>2 教育理念を実現するための視点 ③一人ひとりを大切にす教育</p> <p>障害の有無関係なく、誰でも地域の幼稚園、保育施設、小中学校で学べる環境づくりや障害に対する理解、共に生きる態度の育成が重要であるため、「インクルーシブ教育」の文言を入れるべきである。</p>	<p>③一人ひとりを大切にす教育の視点については、「子ども一人ひとりの障害や発達状況に応じた支援と障害に対する理解を促進し、共に生きる態度を育成するとともに、すべての人が社会参加できる共生社会の実現を目指す」としており、ご意見の趣旨は含んでいると考えている。</p>
6	<p>2 教育理念を実現するための視点 ③一人ひとりを大切にす教育</p> <p>「子どもたち一人ひとりの特性や教育的ニーズを把握し」と記載がある。「特性」は優れた点という意味であるため、「個性」と記載したほうが良いのではないか。</p>	<p>特性については、子どもたち一人ひとりの状況に応じたきめ細かな支援を行い、その子どもたちの良さや可能性を最大限に伸ばしていくという意味を込めており、適切な表現であると考えている。</p>

7	<p>2 教育理念を実現するための視点 ④ 幼児期からの連続した教育</p> <p>幼児期から中学校まで円滑に接続することで確実に「生きる力」を育むとしており、とても良いと思う。個々の能力に応じて進めてほしい。</p>	<p>区では、子どもたちが円滑に次の学校段階に接続できるよう、子ども同士の交流や小・中学校での乗入れ指導など、乳幼児期から小・中学校までの成長や学びの連続性踏まえた保幼小連携教育を推進し、子どもたちの「生きる力」を育てていく。</p>
---	---	---

項目2 目標Iについて（3件）

No.	提出された意見の概要	区の考え方
1	<p>取組の方向性</p> <p>【家庭の教育力向上へ向けた支援】</p> <p>子育て家庭への支援は、専門的な見地からの助言が必要であるため、「すこやか福祉センターには、複数の臨床心理士を配置するなど、地域全体における相談機能の充実を図ります。」と追記してほしい。</p>	<p>【家庭の教育力向上へ向けた支援】では、「すこやか福祉センターにおいては、子育て家庭の交流の場の提供、子育て相談や講座の実施、地域の子育て支援活動や子育て支援団体への支援など、家庭への相談支援の充実や地域との交流促進を図ります」としており、ご意見の趣旨は含まれていると考えている。</p>
2	<p>取組の方向性</p> <p>【就学前教育の充実】</p> <p>「さまざまなライフスタイルの家庭が幼児教育を受けられる環境を整備します。」とあるのに、なぜ認定こども園化するのか。</p> <p>また、民設民営で中野区が目指す幼児教育が実践されるのか、行政はどの程度関与できるのか。</p>	<p>幼稚園と保育所機能が一体となった認定こども園の整備や幼稚園型の一時預かり事業を充実することで、多様な教育・保育のニーズに対応でき、様々なライフスタイルの家庭が幼児教育を受けられると考えている。</p> <p>区はこれまで、区立・私立合同の研修や保育園、幼稚園、小学校の連携拡充など、幼児教育の質の向上に努めてきた。引き続き、適切な運営が行われるよう、指導体制を整え、質の確保を図っていくとともに、区立・私立問わず行政として幼児教育の充実に向けて</p>
3	<p>区立幼稚園の認定こども園への転換が待機児童対策のためであるならば、区立幼稚園で一時預かり事業を推進すれば良いのではないか。</p>	<p>取組んでいく。</p>

項目3 目標Ⅲについて（1件）

No.	提出された意見の概要	区の考え方
1	<p>いじめは減らないと考えている。教員も様々な業務で多忙であり、子どもと接する機会が少なくなっているのではないかと。子どもは将来の希望なので、よりよい教育環境を考えてほしい。</p>	<p>区では、人権教育や道徳教育、豊かな体験活動等を推進し、差別や偏見を許さない学校・学級づくりを進めるとともに、スクールソーシャルワーカーの増員、適応指導や虐待への対応の充実により、子どもや保護者に対する相談支援を充実させ、いじめ・不登校の未然防止や早期発見・早期対応に取り組んでいく。</p>

項目4 目標Ⅳについて（1件）

No.	提出された意見の概要	区の考え方
1	<p>取組の方向性 【体力・運動意欲の向上】</p> <p>園庭のない保育施設が増えたり、小学校の統廃合により、校庭が狭いなどの現状がある。</p> <p>子どもたちが日常的に身体を動かす機会や場が少なくなっているため、取組の方向性として新たに【日常的にのびのびと遊べるスペースの充実】の項目を追記してほしい。</p>	<p>区では、園庭を有しない保育施設が適切な保育環境を確保できるよう、区立小学校との連携により、校庭等での運動遊びなどを実施している。</p> <p>また、【体力・運動意欲の向上】では、「乳幼児期から運動意欲や基礎体力を育むため、「中野区運動遊びプログラム」を推進するとともに、新たに0歳～3歳児向けの「運動遊びプログラム」を作成する」としている。小学校においても、「休み時間や体育の時間などで体を動かす機会を増やしたり、放課後の外遊びを推進し、遊びを通じた体力づくりを推進する」としており、ご意見の趣旨は含んでいると考えている。</p>

項目5 目標Vについて（1件）

No.	提出された意見の概要	区の考え方
1	<p>取組の方向性</p> <p>【開かれた学校経営】</p> <p>公立学校の活性化と魅力ある学校づくりを目指し、保護者と生徒の意思を尊重する公平で透明性のある制度の実現を図るため、公立中学校の学校選択制度の導入を検討してほしい。</p>	<p>区では、区の教育理念を実現するために「家庭・地域・学校の連携による教育」が必要と考えており、それを実現させるために、住所地で通学校を指定する指定校制度を採用しているところである。ただし、児童・生徒及び家庭の事情により指定校への就学が難しい方には、指定校変更・区域外就学の変更の特例を承認している。このことから、現在、学校選択制度を導入する考えはない。</p>

項目6 その他について（3件）

No.	提出された意見の概要
1	<p>地域の住民や団体が子育ての経験や知識、技能などを生かし、積極的に子どもの育成に関わる場となっていたU18プラザが廃止になる。地域の取組みの場として、どこを想定しているのか。</p>
2	<p>学力も大事だが、豊かな人間性を育てることが最も大切だど考える。中野はビルばかりで緑や遊ぶ場所がない。ビルを建てるのではなく、緑の公園などを整備してほしい。</p>
3	<p>毎日にゆとりがなく子どもと過ごす時間も少ない中、学力等の向上ばかりを理想にせず、一人ひとりの子どもを大切にすることができるよう工夫してほしい。</p>

(4)「中野区教育ビジョン（第3次）（案）」からの変更点
変更なし

2 「中野区教育ビジョン（第3次）」及びパブリック・コメント手続実施結果の公表

(1) 公表時期

平成29年6月下旬

(2) 公表場所

区ホームページ、区民活動センター、図書館、すこやか福祉センター、区内幼稚園・認可保育所、区政資料センター、子ども教育経営分野窓口